

ちば里山新聞

(第40号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
 電話 0438-62-8895
 題字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

“里山宣言” を採択

里山シンポジウム in 君津 5月18日

第11回里山シンポジウムが、平成26年5月18日(日)、君津市生涯学習センターで開催されました。(主催:「里山シンポジウム実行委員会」及び「里山シンポジウム in 君津実行委員会」。共催:ちば里山センター。後援:千葉県、君津市)



テーマは“里山・浦山・命山 その恵みと創造”



午前中は活動事例報告が行われ、君津地区で活動する8団体、千葉県内の里山活動団体、台湾の国家公園管理関係者等による発表が3会場で行われました。午後は、君津市長や主催者のあいさつ、君津市長の来賓祝辞に続き、千葉県から第3次里山基本計画が報告されました。また、基調講演として、ケビン・ショート氏が「里山の賑わいを創りだす力」

と題する講演を行い、千葉県印西市での暮らしを通じて実感したという日本の里山の素晴らしさを語りました。その後、地域の里山団体による「地元の里山の持つ底力」ほかの報告があり、最後に、「里山に託す私たちの未来」をテーマにパネルディスカッションが行われ、これを受け、シンポジウムの締めくくりとして「里山宣言 in 君津」が採択されました。



今回のシンポジウムに当たっては、「里山シンポジウム in 君津実行委員会」が立ち上げられ、地域ぐるみの活動として盛り上がりを見せ、参加者は延べ500人を超える盛会となりました。

写真:

- ①全体会では地域の次の世代を担う若人からの熱気あふれる発表も
- ②活動団体の展示コーナー
- ③講演するケビン・ショート氏
- ④横断幕の前に参加者も加わって終了後の記念撮影



第11回里山シンポジウム in 君津

テーマ: 里山・裏山・命山 その恵みと創造

決算、予算など承認

6 月 15 日 里山センター通常総会

特定非営利活動法人ちば里山センターの平成 26 年 3 月期の通常総会が、6 月 15 日、千葉市きぼーる多目的室において開催され、「平成 25 年度事業報告・決算」「平成 26



年度事業計画・予算」「定款一部変更について」の各議案がそれぞれ原案通り承認されました。(写真④)＝総会議場。議長は、高橋邦夫氏<きさらづ里山の会・代表>。写真⑤＝事業報告を行うちば里山センター金親理事長。祝辞を述べる高梨森林課副課長兼森林政策室室長)

“耳より情報”の提供・・・情報交換会

総会終了後の情報交換会および交流会では、会員団体を軸に行政や関連団体等とのコミュニケーションが行われました。



情報交換会では、「平成 26 年度森林・山村多面的機能発揮推進事業について」(千葉県里山林保全推進協議会・伊藤理事)、「平成 26 年度ちば里山カレッジについて」(ちば里山センター小西理事)、「里山活動団体支援金について」(ちば里山センター高橋副理事長)などの話題提供(別掲)が行われ、質疑応答や意見交換が行われました。(写真⑥)

顔の見える関係づくり・・・交流会

交流会では、各地域の実態の報告や要望・意見等をもとに、お互いの懇親を深めました。(写真⑦)



<情報交換会から>

「H26 年度ちば里山カレッジ」について

東葛地区を中心に多くの市が後援 平成 26 年度 ちば里山カレッジちば里山センター主催による「里山ボランティア養成コース」が、7 月 26 日から始まります。里山カレッジは、地球環境基金の助成により行われるもので、昨年に続く 2 回目となりますが、今回は主として都市近郊の里山保全に必要な知識や技能を修得します。我孫子、市川、印西、柏、佐倉、白井、流山、船橋、松戸、八街、八千代、鎌ヶ谷、野田など各市が後援。特に東葛地域の里山活動に関心のある方、奮ってご参加下さい。募集要項は以下の通りです。(ちば里山センターHP を参照下さい。)

- 募集人員：先着 30 名
- 受講料：一般 10,000 円、学生 5,000
- 受講期間：7 月 26 日(土)～11 月 29 日(土)
- 申し込み：先着順。里山センター事務局まで。

12 月からは「リーダーコース」も 「里山ボランティア養成コース」の終了後、12 月から翌 3 月までの予定で「次世代リーダー養成コース」が始まります。昨年及びことしの「里山ボランティア養成コース」の修了者はもとより、里山活動経験豊かな方々のご参加をお待ちしています。次世代リーダー養成コースの詳細は別途(里山新聞 41 号他)お知らせします。

「H26 年度 森林・山村多面的機能発揮対策事業」について

森林・山村多面的機能発揮対策事業 2 年目へ この事業は、昨年からはまった国（林野庁）の施策で、里山活動組織が実施する里山林の保全管理や資源活用など、森林の多面的機能の維持増進及び山村の活性化に資する取り組みに対し、平成 25 年度～平成 28 年度の 4 年間、一定の費用を国が支援するものです。

県の窓口となる千葉県里山林保全整備推進地域協議会・伊藤道男事務局長は、「ことしの採択日は 5 月 26 日で、この日以降の活動が対象となります。採択を受けた団体は活動前に体制をしっかりとさせること、活動の記録をきちんと残すこと、3 月 13 日までにはすべての活動を終了すること等に留意してください。また、来年のエントリーを希望する団体は今のうちから情報をとって準備しておくといでしょう。」と強調しています。

「ちば里山活動支援金」について

手続きが簡便、使途の制約が少ない支援金 ちば里山センターが受け入れる寄付金等を財源として、正会員団体を支援するもの。平成 25 年度に試行的に始められたものですが、今年度も継続されることとなりました。手続きは所定の申込書・実施報告書に基づいて行われます。（正会員には E-メール等で発信されます）。

第 3 次里山基本計画 発表 地域の課題解決、整備面積増大など

千葉県第 3 次里山基本計画が固まり、このほど発表されました。

千葉県は、平成 15 年に「里山条例」を制定し、里山基本計画に基づいて県内の里山整備を進めてきております。基本計画は一定期間ごとに見直しが行われているもので、今回は 3 回目。これまでの 10 年間の成果と課題を踏まえ、平成 29 年度までの計画として示されています。

計画の骨子は以下の通りですが、詳細は県 HP で確認ください。地域の特徴ある活動事例なども紹介されています。

●**目指す姿**：「新 輝け！ちば元気プラン」や「千葉県農林水産業振興計画」に基づき、地域住民や多様な人々の参画により、里山を中心とする豊かで美しい景観が保全され、地域の活性化が図られることを目指す。

●**計画目標**：里山活動によって整備された面積の増加
170ha(H24 年度末) ⇒ 250ha (H29 年度末)

●**計画の特徴**：第 3 次計画では、森林の防災機能の強化等、里山に対する様々な要望が高まっていること、里山活動が地域づくりの中心として重要性を増していること等を踏まえ、地域の課題解決に向けた、各団体・企業等の継続的な活動を促進する。



里山活動団体の予定

| 月 日 | イベント名称 | 会場 | 主催・連絡先 |
|---|---|-------------------------------|--|
| 6/30 | 里山安全技術講習会 | 「ジャックの森」 市原市天羽田 | おとずれ山の会 高橋 0436-36-3773 |
| 7 月（日にち未定） | 田んぼの草取り | 酒々井町西井戸地区 | 酒々井里山フォーラム事務局長 寺本 功 E-mail:teramosissv@tempo.ocn.ne.jp |
| 8 月（ " ） | ホタル観察会 | 酒々井町馬橋地区 | |
| 8/24 | “里コン” （竹林作業をペアで） | 成田市青山 | 北総里山倶楽部 事務局黒沢誠悦 ☎0470-457-9510 E-mail: seietsu@yahoo.co.jp |
| 7/20, 21 8/9, 10, 16, 17 9/14, 15, 21, 22, 23 | Let`s 里山エンジョイ （ワークショップ、野 外料理、場内探検他） | 君津市大鷲新田坊主 越え 「ベルリン大鷲の森」 | Forestsavor 研究所 林 090-5496-9137 |

（平成 26 年 6 月 15 日までに事務局に寄せられたものです。）

リレー・エッセイ

里山とわたし

一年中桜の咲く里山づくり

安馬谷里山研究会 横山 武 (南房総市)



車窓から見た一本の桜 サラリーマンの頃、館山から千葉市へ出張した折、車窓から見た安房から君津間の雑木林の中で、山桜がさみしく一本咲いていました。

何の目的もない雑木林の中で、地形の良い場所2割位は地面を出して、日本人が大好きな桜を植えることにより、ワラビや山百合が増えてくるのではないかと思いました。日本は、ほぼ一年中桜の花が咲くので、定年後に自分の山に桜の苗木を植えたいと考え楽しみにしてきました。

定年後幸いなことに、安馬谷区民が数百年にわたり燃料を取るための12haの区有林が、丸山町の所有となっており、当時の町長から自然を生かした里山作りをしたいとの要請がありました。

平成10年度から中山間地開発事業として「安馬谷里山」に桜等の植樹計画が立案され、地元の有志と一緒に雑木林の一部伐採が始まりました。

130 種類、1,500 本を植樹 平成11年度は、西暦2000年記念植樹として町民79人の参加で、ミモザアカシア200本、染井吉野60本、枝垂れ桜40本等が植樹されました。平成12年度は、21世紀記念植樹として小学校5・6年生と中学校生徒全員で桜・椿が植樹され、現在まで桜130種類1500本のほか、椿、梅、ロウバイ、アジサイ等が植樹され、苗木の枯れた場所には補充しています。平成15年に千葉県里山条例が制定された時に、25人の参加で安馬谷里山研究会を設立しました。会員の高齢化により退会者等もありましたが、入会者もあり現在18名で、年二回3.5haの草刈と木の徐間伐、苗木の手入れ等に汗を流しています。

10 kmのハイキングコース 「安馬谷里山ハイキング」は、ローズマリー公園を起点に10キロメートルのコースで、3月に若芽と山桜、6月に新緑と花菖蒲、11月は紅葉と落ち葉拾いを実施しています。平成26年6月15日で第33回。コースは途中太平洋を見ることが出来、杉のチップロードが500メートルあり、落ち葉の上を1キロメートル歩きますが、足の裏が大地に密着する感じだと参加者から喜ばれています。今までの平均参加者は約40人で、千葉県内の方が大半です。

(ちば里山センター理事)

いちはらアートミックス閉幕

会期 52 日間

来場者 8 万人

市原市で行われていた中房総国際芸術祭「いちはらアートミックス」(前39号に案内記事掲載)が、52日間の会期を経て5月11日に閉幕しました。会場には、首都圏をはじめ、海外からも多くの人々が訪れ、里山や廃校を活用した作品が紹介されました。次回は3年後の予定。(写真は旧内田小学校での展示から)



～～～編集後記～～～

◆ここ数年間、当センターの事務局業務を一手に担ってきた松永美知子さん(事務局長)が6月で退職されます。これまでの尽力に敬意を表し感謝申し上げます。お疲れさまでした。しばし体を休め、ぜひとも里山活動に戻ってきてほしいと念じるところです。後任の事務局員は萱野万里子さん。どうぞよろしく願いいたします。(H.K)

◆先日、映画「WOOD JOB!～」を観たのですが、全くの素人の若者が次第に山に引かれ、いっばしの杣人になってゆく過程がとても面白く楽しく描かれています。「三浦しをん」の「神去なあなあ日常」の映画化で、本もベストセラーになったようですね。里山人、森人はもとより、世界中の人にお薦めしたいと思った作品でした。(K.T)

入会申し込み、問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896

E-mail info@chiba-satoyama.net HP <http://www.chiba-satoyama.net>